第4章

みどりあふれる持続可能なエコタウン

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(所属)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
					会計	投入コスト		活動実績(R6)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
411	市民部	松井まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	マチエコアンバサダーの上田マリノ氏を講師に迎え環境講演会を開催した。アンケート結果から参加者の満足度は高く目標に達成することができた。また、市職員のみならず環境推進員の協力も得ながら実施した。今後もゼロカーボンシティの実現に向けて地域住民が共通の目的をもって実践していけるよう啓発する。	R6年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに		
			-	自治事務												
			根拠法令	R6予算現額	R6決算額(見込み)	①講演会アンケート回答数 ②「満足」及び「やや満足」の回答を得た件数	講演会参加者の満足度割合	環境啓発事業を通じて本市が掲げるゼロカーボンシティ実現に対する意識の向上を図りたい。	R6目標値が未達成の理由・分析	R6目標			R6実績	13 気候変動に具体的な対策を		
			所沢市まづくりセンター条例及び施行規則、所沢市脱炭素社会を実現するための条例	40千円	20千円											
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績							事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
			まちなみ「ゼロカーボンシティの推進」啓発事業として、地域の身近な拠点である「まづくりセンター」において、環境に関する講座等の開催及び周知啓発等を行い、市民に環境問題を身近に感じていただくとともに、ゼロカーボンシティ実現の推進を図るものとする。令和6年度は、松井まづくりセンターのホールを会場に「ゼロカーボンシティの推進」に関する講演会を開催した。	-	会年職員等	-	-	実績	-	-				どのように貢献したか		
			期間	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	R6目標	R6実績	①33件 ②30件	90.0%	90.9%				初年度は講演会を開催したが、講演会では限られた人数が対象となるため、次年度以降はさらに多くの地域住民に対して環境問題への啓発を広めていけるよう事業のブラッシュアップを図りたい。		
R6 ~	0.00人	0千円	0人	0人					地域住民が「ゼロカーボンシティ実現」に関する意識を高めるきっかけとなった。							
411	市民部	富岡まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	全ての事業参加者に満足していただくことができた。	R6年度に改善した点	13 気候変動に具体的な対策を		
			最優先	自治事務												
			根拠法令	R6予算現額	R6決算額(見込み)	①事業参加者のアンケート回答件数 ②アンケート結果の分析(「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数÷アンケート回答件数×100)	参加者の満足度割合(「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数÷アンケート回答件数×100)	環境に関する事業を行い、市民に環境問題を身近に感じていただくとともに、ゼロカーボンシティ実現の推進を図ることを目的としているため、「参加者の満足度割合」が高ければ、効果的な事業が遂行できていたと考える。	R6目標値が未達成の理由・分析	R5目標			R5実績	R6目標	R6実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			所沢市まづくりセンター条例及び施行規則、所沢市脱炭素社会を実現するための条例	40千円	0千円											
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績	実績	-	-				どのように貢献したか		
			地域の身近な拠点である「まづくりセンター」において、環境に関する講座等の開催、及び周知啓発等を行い、市民に環境問題を身近に感じていただくとともに、ゼロカーボンシティ実現の推進を図ることを目的としている。①「ゼロカーボンシティの推進」に関する講座等の開催②「ゼロカーボンシティの推進」に関する啓発や情報の掲示、配架③来館者へのマイボトル持参の呼びかけ、及びまちなみ設置のウォーターサーバー活用の案内など	-	会年職員等	-	-	①17件 ②17件	100.0%	100.0%			目標を達成することができた。	今後も満足度の向上を目指しつつ、「ゼロカーボンシティ推進」に関する事業を企画・実施していく。		
			期間	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	R6目標	R6実績							環境に関する講座を開催することで、環境問題を身近に感じていただくとともに、ゼロカーボンシティ実現の推進に寄与した。		
R6 ~	0.06人	490千円	0人	0人					評価者 富岡まづくりセンター長 粕谷紀夫							
411	市民部	小手指まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	ゼロカーボンシティの実現に向けた啓発事業として企画し当日準備をしたものの、結果として参加者無しの状況により、開催を中止した。啓発内容ははじめ、開催時期や周知方法等を見直し検討を図り今後に生かしていきたい。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを		
			-	自治事務												
			根拠法令	R6予算現額	R6決算額(見込み)	①講座の開催 ②参加者数 ③アンケート結果	啓発事業に対する地域住民参加人数	地域住民の環境の講座内容に対する関心度を図るため、予想参加者数に対する実績者数を指標とした。	R6目標値が未達成の理由・分析	R5目標			R5実績	R6目標	R6実績	13 気候変動に具体的な対策を
			所沢市まづくりセンター条例及び施行規則、所沢市脱炭素社会を実現するための条例	40千円	0千円											
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績	実績	-	-				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
			地域の身近な拠点である「まづくりセンター」において、環境に関する講座等の開催、及び周知啓発等をおこない、市民に環境問題を身近に感じていただくとともに、ゼロカーボンシティ実現の推進を図るものである。	-	会年職員等	-	-	①開催中止 ②0人 ③0人	40人	0人			開催に向け連絡調整や地域の広報紙への記事掲載を行った。当日、開催のため準備を行い、開催できる状態としたものの、開催時には参加者が集まらず、またしばらく様子を見たものの、結果は同様であったため、その時点で中止とした。当日準備した資料は、施設来館者へ配布資料とした。	どのように貢献したか		
			期間	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	R6目標	R6実績							多くの地域住民のニーズに見合うよう講座内容の検討、また事業の開催時期や周知方法等についても吟味の上、啓発事業を実施していく。		
R6 ~	0.00人	0千円	0人	0人					評価者 小手指まづくりセンター長 小川 和彦							
411	市民部	山口まづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	事業への参加人数は目標を達成することができた。一方で、役員や参加者が固定化する傾向が見られる。	R6年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに		
			最優先	自治事務												
			根拠法令	R6予算現額	R6決算額(見込み)	①地域住民の参加人数 ②「脱炭素社会の推進」に関する環境講演会等の開催数	脱炭素社会実現のための啓発事業への地域住民の参加人数	住民参加と協働による脱炭素社会実現を進めるための事業を実施する。	R6目標値が未達成の理由・分析	R5目標			R5実績	R6目標	R6実績	11 住み続けられるまちづくりを
			所沢市まづくりセンター条例及び施行規則、所沢市脱炭素社会を実現するための条例	90千円	80千円											
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績	実績	-	-				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
			講座等の開催及び周知啓発等を行い、市民に環境問題を身近に感じていただくとともに、脱炭素社会実現の推進を図るものである。まづくりセンターは、平成23年4月に開設し、これまで各種講座の開催や地域団体等との協働による地域づくり支援事業の実施など、地域活動の促進に取り組んできた。	-	会年職員等	-	-	①689人 ②5回	500人	689人			目的・目標を上回っている	どのように貢献したか		
			期間	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	R6目標	R6実績							特定の団体、世代だけでなく幅広く地域の方に参加していただけるよう、住民の関心の高い事業や積極的な情報発信を行っていく。		
R6 ~	0.15人	1,224千円	0人	0人					評価者 山口まづくりセンター長 小林 宏行							

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(所属)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
					会計	投入コスト		活動実績(R6)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
411	市民部	吾妻まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	いきものふれあいの里センター職員を講師に迎え「自然散歩」を開催、「狭山丘陵と温暖化」「ゼロカーボン」「ナラ枯れ」をテーマに講義を実施し、八国山周辺を散策、地域の自然を身近に感じてもらった。アンケートからも参加者の満足度は高い結果となった。今後においても引き続きゼロカーボンシティ実現に向けて、環境問題に対する理解を深めていけるような啓発を心掛けていく。	R6年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに		
			A	自治事務	-	-	①主催事業数	参加者の満足度割合(%) (「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数÷アンケート回答件数×100)	環境に関する講座を開催し、市民に環境問題を身近に感じてもらうことを目指すことが当該事業の目的となっているため、参加者の満足度割合を指標とする。	R6目標値が未達成の理由・分析			R6年度に改善した点			
			根拠法令	R6予算現額	R6決算額(見込み)	②事業参加者に対する5段階評価アンケート回答数	R6目標						R6実績		ゼロカーボンシティ実現を目標に掲げ、令和6年度より本事業を開始したものである。	
			所沢市まちづくりセンター条例及び施行規則、所沢市脱炭素社会を実現するための条例	40千円	20千円	③アンケート結果の分析(満足と回答を得た件数)	R5目標	R5実績								
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	-	-								
			地域の身近な拠点であるまちづくりセンターにおいて、環境に関する講座の開催、及び周知啓発等を行い、市民に環境問題を身近に感じていただくとともに、ゼロカーボンシティ実現の推進を図るものである。	-	会年職員等	-	-	-								
			期間	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①1回	R6目標	R6実績								
R6 ~	0.10人	0	②17件	100%	100%	達成済										
	816千円		③17件													
411	市民部	柳瀬まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	多くの参加者に満足していただくことができた。引き続き、環境問題を身近に感じることができている取り組みを進めていく。	R6年度に改善した点	13 気候変動に具体的な対策を		
			最優先	自治事務	-	-	①事業参加者に対するアンケートの実施の件数	参加者の満足割合	事業参加者の満足割合から、今回の講座を通して、ゼロカーボンシティ実現の推進に少しでも寄与できたかを推し量るもの。	R6目標値が未達成の理由・分析			開催日時を少しでも参加しやすい時間帯に設定した。また、初めての事業だったので参加者に啓発グッズを用意した。			
			根拠法令	R6予算現額	R6決算額(見込み)	②アンケート結果の分析「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数	R5目標						R5実績			
			所沢市まちづくりセンター条例及び施行規則、所沢市脱炭素社会を実現するための条例	35千円	35千円	③来館者への周知	R6目標	R6実績								
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	-	-								
			環境に関する講座等の開催、及び周知啓発等をおこない、市民に環境問題を身近に感じていただくとともに、ゼロカーボンシティ実現の推進を図るものである。	-	会年職員等	-	-	-								
			期間	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①74件	R6目標	R6実績	目標達成済							
R6 ~	0.33人	0.2人	②61件	80.0%	82.4%											
	2,693千円															
411	市民部	三ヶ島まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	公民館既存事業にはなかった環境問題に関する講座を開催したことにより、市民に環境問題を身近に感じていただき、ゼロカーボンシティ実現への一助となったと考えられる。今後も地域団体と協働し、公民館事業の一環として、継続して講座を開催していくことが必要である。	R6年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに		
			-	自治事務	-	-	①市民参加の講座等の開催	講座参加者数	地域住民の環境に対する関心度合を図るため、講座参加者数を指標とした。	R6目標値が未達成の理由・分析			R6年度に改善した点			
			根拠法令	R6予算現額	R6決算額(見込み)	②「ゼロカーボンシティの推進」に関する情報発信	R5目標						R5実績			
			所沢市まちづくりセンター条例及び施行規則、所沢市脱炭素社会を実現するための条例	40千円	40千円	③来館者への周知	R6目標	R6実績								
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	-	-								
			地域の身近な拠点である「まちづくりセンター」において、環境に関する講座等の開催、及び周知啓発等をおこない、市民に環境問題を身近に感じていただくとともに、ゼロカーボンシティ実現の推進を図るものである。	-	会年職員等	-	-	-								
			期間	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①1講座開催	R6目標	R6実績	講座の日程が講師の都合により3月となってしまったこと、環境推進員以外の方への周知が足りなかったことから目標値に届かなかったと考えられる。							
R6 ~	0.10人	0人	②「ゼロカーボンシティの推進」のための職の設置	100人	37人											
	816千円		③ウォーターサーバーの前に職を設置													
411	市民部	新所沢まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	早稲田大学の平塚教授を講師にお招きし、「子ども達へ残そう所沢の環境」と題し講演をいただいた。出席者からは環境への理解が深まり、今日から実践出来る取組を行いたいなど、ゼロカーボンの推進が図れた。	R6年度に改善した点	13 気候変動に具体的な対策を		
			-	自治事務	-	-	①定員	参加率(%)	参加者数÷定員×100	R6目標値が未達成の理由・分析			初実施			
			根拠法令	R6予算現額	R6決算額(見込み)	②参加者数	R5目標						R5実績			
			所沢市まちづくりセンター条例及び施行規則、所沢市脱炭素社会を実現するための条例	40千円	40千円	③来館者への周知	R6目標	R6実績								
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	-	-								
			地域の身近な拠点である「まちづくりセンター」において、環境に関する講座等の開催、及び周知啓発等を行い、市民に環境問題を身近に感じていただくとともに、ゼロカーボンシティ実現の推進を図るものである。	-	会年職員等	-	-	-								
			期間	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①100人	65.0%	61.0%	参加者が想定以上に集まらなかったため、より事業のねらいを絞り、広報を行っていききたい。							
R6 ~	0.35人	0人	②61人													
	2,857千円															

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(所属)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)				
					会計	投入コスト		活動実績(R6)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目					
411	市民部	新所沢まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標を達成しているため。	R6年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに				
			A	自治事務	-	-		R6予算現額	R6決算額(見込み)		①啓発に関する講座回数 ②啓発に関する講座の参加人数	脱炭素社会実現に関する講座の開催回数			新規事業のため確実にまず1回開催し、今後継続的に定着できるように目指すものとする。		令和6年度から事業開始	11 住み続けられるまちづくりを		
			根拠法令	所沢市まちづくりセンター条例及び施行規則、所沢市脱炭素社会を実現するための条例	40千円	35千円			R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合									R5目標	R5実績
			事業の目的及び具体的な内容	【目的】地域の身近な拠点である「まちづくりセンター」において、環境に関する講座等の開催及び周知啓発等をおこない、市民に環境問題を身近に感じていただくとともに、ゼロカーボンシティ実現の推進を図るものである。 【内容】脱炭素社会実現に関する講座の開催、啓発や情報の掲示や配架する。来館者へのマイボトル持参の呼びかけ及びまちづくりセンター設置のウォーターサーバー活用の案内を行う。	R6	0.15人	0人	実績		-	-	R6目標			R6実績					R6目標値が未達成の理由・分析
			期間	R6 ~	1,224千円	0人	①1回 ②22人	1回	1回	目標達成済									事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
			評価者	新所沢まちづくりセンター長 新井 浩厳															どのように貢献したか	
																			今後、多くの方が関心を持ってゼロカーボン実現へ取り組んでいただけるよう、常態化しないよう配慮しながら繰り返し発信していく。	地域温暖化におけるゼロカーボンへの取り組みを促すことにより、二酸化炭素削減に貢献することができた
411	市民部	所沢まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	事業に参加していただいた地域住民のアンケート結果については、「満足」及び「ある程度満足」で100%になった。しかし、参加人数については、講演会事業を含めて67人に留まったことから、今後は少しでも多くの人に興味を持ってもらえるよう、テーマ設定など工夫をしていきたい。	R6年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに				
			A	自治事務	-	-		R6予算現額	R6決算額(見込み)		①事業参加人数 ②アンケート回答件数 ③「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数	事業参加者の満足度(「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た割合)			地域住民の環境問題に関する周知啓発を目的としているため、事業参加者の満足度を指標とする。		令和6年度の新規事業であるため、事業の効果や参加者の満足度を把握する目的でアンケートを実施した。アンケート結果やご意見については、次年度以降の参考にしていきたい。	13 気候変動に具体的な対策を		
			根拠法令	所沢市まちづくりセンター条例及び施行規則、所沢市脱炭素社会を実現するための条例	83千円	83千円			R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合									R5目標	R5実績
			事業の目的及び具体的な内容	地域の身近な拠点である「まちづくりセンター」において、環境に関する講座等の開催、及び周知啓発等をおこない、市民に環境問題を身近に感じていただくとともに、ゼロカーボンシティ実現の推進を図るものである。	R6	0.20人	0.05人	実績		-	-	R6目標			R6実績					R6目標値が未達成の理由・分析
			期間	R6 ~	1,632千円	0.05人	①67人 ②52件 ③52件	80.0%	100.0%	目標達成済									事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
			評価者	所沢まちづくりセンター長 青森 理子															市民に環境問題を身近に感じてもらうことで、周知啓発を図ることができた。	
411	市民部	並木まちづくりセンター	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		B	初めての試みであったが、小学生は楽しんで学んでいた。一人ひとりの取り組みが脱炭素社会実現につながるよう、息の長い講座にしていきたい。	R6年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに				
			-	自治事務	-	-		R6予算現額	R6決算額(見込み)		①年間事業数 ②脱炭素社会実現のための啓発事業参加人数	脱炭素社会実現のための啓発事業参加人数			市民を対象とした、環境について考えるきっかけづくりのための講座。		実験を交えた体験的な学習とした。また、並木地区環境推進員協議会の協力もいただいた。	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに		
			根拠法令	所沢市まちづくりセンター条例及び施行規則、所沢市脱炭素社会を実現するための条例	120千円	120千円			R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合									R5目標	R5実績
			事業の目的及び具体的な内容	二酸化炭素排出量の削減に向けて、市民を対象にした啓発講座を開催する。市民の誰もが脱炭素社会の重要性を認識し、積極的に取り組むきっかけをつくる。	R6	0.14人	0人	実績		-	-	R6目標			R6実績					R6目標値が未達成の理由・分析
			期間	R6 ~	1,143千円	0人	①2事業 ②373人	400人	373人	対象を小学生としたため、児童数の減少、小学生にとって都合の良い開催時期ではなかったことが目標値未達成の原因と思われる。									事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
			評価者	並木まちづくりセンター 吉永 寿久															今後座学のみならず、実験や体験を通じた講座を企画し、様々な年代を対象とすることを検討する。	脱炭素社会実現のための啓発となった。
411	環境グリーン部	マチごとエコタウン推進課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		S	家庭用の実績が令和5年度の1,466件から1,604件と(138件増)大幅に増加したことにより、CO2の削減量は前年度の732t-CO2から1757t-CO2と(1,025t-CO2増)大幅に増え、家庭部門における再生可能エネルギーの導入と省エネを推進できたため。	R6年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに				
			-	自治事務	188,000千円	149,196千円		R6予算現額	R6決算額(見込み)		①家庭用 ②事業者用 ③自治会用	本事業を実施することによるCO2排出量削減推定量			住宅や事務所、自治会館等のスマートハウス化の推進による市域の二酸化炭素排出量の削減効果を測るため、左記項目を指標とする。		11 住み続けられるまちづくりを			
			根拠法令	所沢市脱炭素社会を実現するための条例	217,966千円	198,022千円			R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合								R5目標	R5実績	
			事業の目的及び具体的な内容	【目的】所沢市マチごとエコタウン推進計画に基づき、再生可能エネルギー利用設備や省エネルギー設備等を導入する市民及び事業者等に対して、予算の範囲内で、経費の一部を補助し、市域における再生可能エネルギーの導入及びエネルギーの効率的な利用をより一層推進する。 【内容】①家庭用(エコリフォーム、創エネ・蓄エネ機器導入) ②事業者用 ③自治会・管理組合用	R6	1.32人	0.25人	実績		増加	732t-CO2	R6目標			R6実績				R6目標値が未達成の理由・分析	
			期間	H31 ~	12,243千円	0.25人	①1,604件 ②1件 ③3件 ④36件 ⑤(①②のうち)19件	増加	1757t-CO2	目標達成済								事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		13 気候変動に具体的な対策を
			評価者	マチごとエコタウン推進課長 緑川 達也														どのように貢献したか		
																		国の動向や社会情勢、市場価格を把握し、より効果的な補助となるよう工夫しながら進めていく。	スマートハウス化の推進により、再生エネの普及とCO2排出量削減を進め、地球温暖化に貢献した。	

計画コード	所属名称(所属)	所属名称(所属)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)						
					会計	投入コスト		活動実績(R6)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目							
411	環境 クリーン部	マチごとエコタウン推進課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	様々な企画やイベント等により、脱炭素社会実現に向けた各主体への取組を促すことができたため。	R6年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに						
			最優先	自治事務		2,000千円	1,066千円										①「所沢市脱炭素経営ネットワーク会議」及びイベントの開催 ②学生と連携した普及啓発イベントの開催 ③職員による出前講座等を通じた市民への啓発活動	脱炭素に資する会議、イベント、出前講座の開催数	各主体を巻き込みながら脱炭素の推進を図るため、協同でのイベント実施や啓発活動を指標とする。	11 住み続けられるまちづくりを		
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額(見込み)		R5目標													R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析
			所沢市脱炭素社会を実現するための条例	4,312千円		1,827千円																
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合	実績	R5目標													R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析
			【目的】令和5年4月施行の「所沢市脱炭素社会を実現するための条例」の趣旨を踏まえ、2050年のゼロカーボンシティを実現するためには、市・事業者・市民の各主体が地球温暖化を自分事として捉えつつ、スピード感をもって様々な取組を実行していく必要がある。ゼロカーボンシティ実現に向けて、各主体が一体となった取組を進めるため、事業者や市民を巻きこんだ事業推進のきっかけづくりとすることを目的として実施するものである。	1.60人		0人																
			【内容】「所沢市脱炭素経営ネットワーク会議」を軸とした活動・学生と連携した普及啓発イベントの開催・職員による出前講座等を通じた市民への啓発活動	12,930千円		0人	R6目標	R6実績														
期間	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	実績	R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析																
R5 ~	2.87人	0人					R6目標	R6実績														
	0千円	0人	①会議等:5回 参加事業者数:延べ約115団体・約280人、来場者数:約1,500人。ほか二酸化炭素排出量の可視化を10社で実施。 ②イベント:5回 参加学生:延べ47人、来場者数:延べ384人 ③市内小中学生向け:6回 受講者数:計1,032人	15回	19回	①会議等:5回 参加事業者数:延べ約115団体・約280人、来場者数:約1,500人。ほか二酸化炭素排出量の可視化を10社で実施。 ②イベント:5回 参加学生:延べ47人、来場者数:延べ384人 ③市内小中学生向け:6回 受講者数:計1,032人			16回	16回												
411	環境 クリーン部	マチごとエコタウン推進課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	目標値を上回るCO2排出量の削減に補助金が寄与したため。	R6年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに						
			-	自治事務		-	-										①高効率空調機器 ②高効率照明機器	本事業を実施することによるCO2排出削減推定量	事業者等の省エネ推進による市域の二酸化炭素排出量の削減効果を測るため、左記項目を指標とする。	13 気候変動に具体的な対策を		
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額(見込み)		R5目標													R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析
			所沢市脱炭素社会を実現するための条例	11,500千円		10,441千円																
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合	実績	R5目標													R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析
			【目的】「所沢市マチごとゼロカーボンシティ推進計画」(環境省 地域脱炭素移行・再エネ推進交付金のうち重点対策加速化事業)に基づき、省エネルギー設備を導入する事業者等に対して、予算の範囲内で、経費の一部を補助し、市域におけるエネルギーの効率的な利用をより一層推進する。	-		-																
			【内容】①高効率空調機器 ②高効率照明機器	-		-	R6目標	R6実績														
期間	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	実績	R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析																
R6 ~ R10	0.83人	0人					R6目標	R6実績														
	0千円	0人	①10件 ②2件	6.24t-CO2	36.53t-CO2	目標達成済																
412	環境 クリーン部	マチごとエコタウン推進課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	市域の再エネ設備の総出力において成果目標を達成しているため。	R6年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに						
			最優先	自治事務		60,861千円	60,542千円										①電力調達方針に基づき公共施設における環境にやさしい電力の利用推進 ②市域における再エネ普及推進 ③所沢版RE100の推進	市域における再生可能エネルギー設備の総出力	再生可能エネルギー設備の普及推進は脱炭素社会の構築に向けた最も重要な取組みの一つであるため、所沢市マチごとエコタウン推進計画の目標指標ともなっている設備の総出力を指標とする。	11 住み続けられるまちづくりを		
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額(見込み)		R5目標													R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析
			所沢市脱炭素社会を実現するための条例	19,875千円		18,529千円																
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合	実績	R5目標													R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析
			「所沢市マチごとエコタウン推進計画」に基づき、脱炭素社会の構築に向け、市域の再生可能エネルギーの利用を推進するものである。	1.15人		0人																
			【主な取組】・メガソーラー所沢、フロートソーラー所沢の運営・小中学校屋根貸し太陽光発電事業・公共施設における環境にやさしい電力の利用推進・再生可能エネルギーの普及推進・所沢版RE100の取組み 毎月25日を「RE100の日」とし、その日の使用電力を再生可能エネルギー100%にすることで、再生可能エネルギーの普及啓発を図る。	9,293千円		0人	R6目標	R6実績														
期間	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	実績	R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析																
H30 ~	1.73人	0人					R6目標	R6実績														
	14,120千円	0人	①公共施設においてCO2排出係数の低い電力を453件調達した。 ②再生可能エネルギーに関する啓発活動等を行った。 ③本庁舎を含む17の施設で、毎月25日に「所沢版RE100の日」を実施した。	42.5MW	44.7MW	50.0MW			50.2MW													
412	環境 クリーン部	マチごとエコタウン推進課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	事業初年度において、戸建街区、マンション共に1件ずつ最高ランクであるCLESSⅢの認定をし、モデル街区を創出できたため。	R6年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに						
			優先	自治事務		-	-										①事前相談回数 ②マチごとエコタウン認定(戸建)認定件数 ③マチごとエコタウン認定(マンション)認定件数	認定件数(戸建・マンション合計)	認定街区を増やし、認定基準の街区がスタンダードになることを目指しているため、認定件数を指標とする。	11 住み続けられるまちづくりを		
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額(見込み)		R5目標													R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析
			所沢市脱炭素社会を実現するための条例	113千円		12千円																
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合	実績	R5目標													R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析
			所沢市の民生家庭部門の二酸化炭素排出量を削減するには戸単位だけではなく街区での取組が重要であることから、一定の要件を満たした街区に対し市から認定を付与し、魅力的な街区作り及びその発信を通じて市内全域への波及を目指す事業。	-		-																
			期間	R6正規職員人件費		R6その他職員従事割合	実績	R6目標													R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析
R6 ~	0.70人	0人	R6目標	R6実績																		
	5,713千円	0人			①2回 ②1件 ③1件	3件	2件	認定要件の設定に時間を要したことにより、ガイドラインの公開が9月にずれ込む形となった。それに伴い、街区開発事業者へのアプローチが年度後半となり、当該年度内に認定要件を満たす街区数は2件にとどまった。														
412	環境 クリーン部	マチごとエコタウン推進課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	事業初年度において、戸建街区、マンション共に1件ずつ最高ランクであるCLESSⅢの認定をし、モデル街区を創出できたため。	R6年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに						
			優先	自治事務		-	-										①事前相談回数 ②マチごとエコタウン認定(戸建)認定件数 ③マチごとエコタウン認定(マンション)認定件数	認定件数(戸建・マンション合計)	認定街区を増やし、認定基準の街区がスタンダードになることを目指しているため、認定件数を指標とする。	11 住み続けられるまちづくりを		
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額(見込み)		R5目標													R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析
			所沢市脱炭素社会を実現するための条例	113千円		12千円																
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合	実績	R5目標													R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析
			所沢市の民生家庭部門の二酸化炭素排出量を削減するには戸単位だけではなく街区での取組が重要であることから、一定の要件を満たした街区に対し市から認定を付与し、魅力的な街区作り及びその発信を通じて市内全域への波及を目指す事業。	-		-																
			期間	R6正規職員人件費		R6その他職員従事割合	実績	R6目標													R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析
R6 ~	0.70人	0人	R6目標	R6実績																		
	5,713千円	0人			①2回 ②1件 ③1件	3件	2件	認定要件の設定に時間を要したことにより、ガイドラインの公開が9月にずれ込む形となった。それに伴い、街区開発事業者へのアプローチが年度後半となり、当該年度内に認定要件を満たす街区数は2件にとどまった。														

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(所属)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費		成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)							
					会計	投入コスト	活動実績(R6)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目							
412	街づくり計画部	市街地整備課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	月に15件ほどの利用を見込んでいたが、月平均23件以上の利用実績が得られている。	R6年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに						
			-	自治事務		3,770千円	3,770千円														
			根拠法令	都市計画法、道路法、所沢市マチごとエコタウン推進計画		R6予算現額	R6決算額(見込み)	①カーシェアリングの利用実績数	EVカーシェアリング利用実績数	カーシェアリングとEV利用の促進が、当該事業の目的となっていることから、運営を開始したEVカーシェアリングの利用実績数を目標とする。						R6目標値が未達成の理由・分析	R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析	特になし	11 住み続けられるまちづくりを
						0千円	0千円														
			事業の目的及び具体的な内容	脱マイカー・エコマシシェアリング促進事業		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析					R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
						0.23人	0人														
			期間	R5 ~ R8		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①276件	R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析					R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析	月毎の目標利用数が達成できていることを定期的に確認し、利用数の低下が継続する際には事業者と対策を検討する。	EVカー利用でCO2減少に貢献できる。また、カーシェアリングの促進により、マイカーの減少を促し、交通渋滞の低減に貢献できる	
1,859千円	0人																				
		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①276件	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析	市街地整備課長 森澤 律昭	どのように貢献したか									
0.00人	0人																				
		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①276件	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析	市街地整備課長 森澤 律昭	どのように貢献したか									
0千円	0人																				
412	教育総務部	教育施設課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	工事対象校の8校を計画とおり実施し、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与できた。	R6年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに						
			最優先	自治事務		11,284千円	9,350千円														
			根拠法令	-		R6予算現額	R6決算額(見込み)	①設計実施件数	工事の進捗	公立小中学校は47校あり、既存照明器具をLED照明器具に改修した学校数を指標とする。						R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	特になし		
						377,619千円	275,659千円														
			事業の目的及び具体的な内容	小中学校校舎照明LED化事業		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析					R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
						0.87人	0人														
			期間	R5 ~		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①10件	R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析					R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析	国庫補助金の交付決定時期が不透明である。	施設の改修工事により、学校環境の向上に貢献できた。	
7,030千円	0人																				
		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	②8件	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析	教育施設課長 市村 浩昭	どのように貢献したか									
0.95人	0人																				
		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	②8件	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析	教育施設課長 市村 浩昭	どのように貢献したか									
7,754千円	0人																				
412	教育総務部	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	LED化したことで照度が上がり、市民が安全にスポーツを楽しめる環境整備と同時に省電力化による環境配慮を促進した。燃料価格の高騰が続いていることから、電気料の推移については引き続き注視していく。	R6年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに						
			-	自治事務		6,312千円	6,312千円														
			根拠法令	スポーツ基本法、所沢市体育施設設置及び管理条例		R6予算現額	R6決算額(見込み)	①市民体育館R5年度年間電気料	電気料削減比率(当年電気料÷工事前年電気料×100)	市民体育館R5年度年間電気料28,145,180円						R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	特になし		
						6,312千円	6,312千円														
			事業の目的及び具体的な内容	所沢市民体育館等LED化整備事業		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析					R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
						0.00人	0人														
			期間	H30 ~ R11		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①27,320,115円	R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析					R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析	今後CO2排出量の削減及び光熱費等維持管理の削減を図っていく。	利用者の利便性を図り、CO2排出量の削減及び光熱費等維持管理の削減に貢献した。	
0千円	0人																				
		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	②29,046,377円	R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析	R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析	スポーツ振興課長 波多野 健一	どのように貢献したか									
0.00人	0人																				
		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	②29,046,377円	R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析	R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析	スポーツ振興課長 波多野 健一	どのように貢献したか									
0千円	0人																				
413	建設部	道路建設課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標を達成している。	R6年度に改善した点	13 気候変動に具体的な対策を						
			最優先	自治事務		75,000千円	69,111千円														
			根拠法令	道路法、河川法、土地収用法		R6予算現額	R6決算額(見込み)	①市道1-900号線改良舗装工事(改良整備延長)	埼玉県、清瀬市と共同で行う橋りょう改築と合わせて接続する周辺道路整備に係る工事計画に対する進捗率	橋りょうの改築にあたり、各年度で計画した業務がどれくらい進捗できたかで評価する。						R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	特になし		
						155,000千円	148,137千円														
			事業の目的及び具体的な内容	所沢市総合治水対策事業(清柳橋改築事業)		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析					R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
						0.72人	0人														
			期間	H30 ~ R9		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①令和6年4月22日着工令和7年3月24日完了計画延長278.961m実施延長261.7m	R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析					R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析	橋りょう改築を共同で進める埼玉県及び清瀬市と綿密に協議するとともに調整を図り、事業を滞りなく進めていく。	浸水被害の軽減を図り、気候関連災害や自然災害に対する強靱性及び適応の能力を強化することを図った。	
5,818千円	0人																				
		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①令和6年4月22日着工令和7年3月24日完了計画延長278.961m実施延長261.7m	R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析	R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析	道路建設課長 岩崎 幸司	どのように貢献したか									
0.67人	0人																				
		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①令和6年4月22日着工令和7年3月24日完了計画延長278.961m実施延長261.7m	R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析	R6目標	R6実績	R6目標値が未達成の理由・分析	道路建設課長 岩崎 幸司	どのように貢献したか									
5,469千円	0人																				

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(所属)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費		成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
					会計	投入コスト	活動実績(R6)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題		事業自体が貢献する項目
421	環境 クリーン部	みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	ふるさとのみどり啓発事業と生きもの子どもが出来る森づくり事業を統合し、令和6年度より生きもののみどり啓発事業としてスタートした。みどりのふれあいウォークの参加者数は目標値は未達であったが、昨年度より増加となったほか、甲虫類を繁殖させるためのプールは所定数を設置できた。	R6年度に改善した点 15 陸の豊かさを守ろう
			重要	自治事務		4,745千円	4,606千円	①みどりのふれあいウォーク参加人数	みどりのふれあいウォーク参加人数	生きもののみどり啓発事業の中核を担う事業として、市内住民のみならず、西武鉄道沿線等の近隣からも参加する一大イベントであることから、参加人数を指標とする。なお、令和元年度以降は、実情に即し毎年2,000人を目標とすることとした。				
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額(見込み)	②みどりのカーテンコンテスト応募数							
			ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例、所沢市緑の基金条例	6,795千円		6,299千円	③落ち葉プール設置か所数	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析				
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合	実績	2,000人	1,101人	R6目標値が未達成の理由・分析				
			本市のブランドである豊かなみどりの保全のため、「みどりのふれあいウォーク」や環境展示会等を開催し市民の理解と意識の向上を図るほか、イベントの際に緑の募金運動を実施し、参加者から寄附金を募る。また、「みどりのカーテン」による省エネと緑化を推進するため、朝顔とゴーヤの種子袋を配布し、みどりのカーテンコンテストを開催する。さらに、自然や生きものへの親しみや関心を高めるため、カブトムシ等の昆虫類を繁殖するための落ち葉プール等を設置し、虫取りや観察などの場を提供する。	3.25人		0人	①1,451人	R6目標	R6実績					
			期間	H18 ~		26,263千円	②13件	2,000人	1,451人	興味を惹きつけるコンテンツが不足していたと考えられる。幅広い世代への周知を行う観点から、参加数が少ない若年層の参加を狙ったコンテンツを盛り込むなどの検討を行う。				
		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	③5か所										
422	環境 クリーン部	みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	目標は達成しているが、高齢化や担い手不足を理由に活動をやる団体もあり、登録人数は前年度より減少となった。目標である登録人数を維持することはもとより、活動そのものの活性化を図れるよう、知識や技術更新のための講座のほか、連絡会の開催を行っている。	R6年度に改善した点 11 住み続けられるまちづくりを 15 陸の豊かさを守ろう 17 パートナースhipで目標を達成しよう どのように貢献したか 講座を通じた環境教育の実施、官民のパートナーシップによるみどりの保全と創出を通じた自然環境の確保を行った。
			重要	自治事務		5,570千円	5,120千円	①講座の開催回数	みどりのパートナー登録者数	みどりのパートナー登録者の増加が、みどりの保全及び創出につながることから、登録者数を指標とする。				
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額(見込み)	②パートナー登録団体数							
			ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例、所沢市みどりのパートナー活動支援事業補助金交付要綱	7,439千円		6,361千円	③みどりのパートナー活動補助金額	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析				
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合	実績	1,415人	1,659人	R6目標値が未達成の理由・分析				
			本市のみどりをより豊かにする市民活動を推進するため、みどりの保全及び緑化の推進に関して自発的かつ実践的な活動を行う個人又は団体を「みどりのパートナー」として登録し、このパートナーに対して情報の提供や緑化資材の助成等、育成・支援等を行う。	0.70人		0人	①5回	R6目標	R6実績					
			期間	H24 ~		5,657千円	②63団体	1,420人	1,592人	目標達成済				
		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	③4,631千円										
423	環境 クリーン部	みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	令和6年度よりみどりの基本計画推進事業と水とみどりがつくるネットワーク計画推進事業を統合した。令和6年度は、みどりの基本計画に基づき、三ヶ島一丁目里山保全地域の指定のほか、3か所の里山保全地域(北野南二丁目、上山口堀口天満天神社周辺、菩提樹池)において指定拡大を行った。また、みどりの審議会において、みどりの基本計画に基づく施策や事業の進捗管理等を行うことにより、各種施策や事業の推進、展開を図った。	R6年度に改善した点 11 住み続けられるまちづくりを 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさを守ろう どのように貢献したか 緑地の保全、創出を通じて、自然環境や気候変動への貢献、良好な住環境の創出を行った。
			重要	自治事務		425千円	103千円	①みどりの審議会の開催回数	地域制緑地の指定件数(指定の拡大も含む)	みどりの保全には、土地所有者の協力のもと、土地利用に一定の制限を加える地域制緑地の指定が効果的なことから、指定件数を指標とした。				
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額(見込み)	②みどりの基本計画の施策の進捗状況の審議回数							
			都市緑地法、生物多様性基本法、ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例	284千円		181千円	③生物多様性ところざわ戦略の施策の進捗状況の審議回数	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析				
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合	実績	11件	11件	R6目標値が未達成の理由・分析				
			「所沢市みどりの審議会」において、みどりの基本計画に基づく施策や事業の進行管理を行うことにより、みどりの保全や創出、生物多様性の保全、水とみどりがつくるネットワークの構築に係る事業の推進を図る。	1.78人		0人	①2回	R6目標	R6実績					
			期間	H21 ~		14,384千円	②1回	12件	15件	目標達成済				
		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	③1回										
423	環境 クリーン部	みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	管理の必要な緑地は毎年増加しているものの、予算には限りがあることから、対象地に優先順位を設け、特に緊急性の高い箇所を中心に管理を実施するなど、効率的な保全管理を図ることで、必要な管理作業が実施できるよう努めている。	R6年度に改善した点 13 気候変動に具体的な対策を どのように貢献したか 緑地の管理・整備を通じて、地球温暖化防止等の森林の公益的機能の発揮に寄与した。
			重要	自治事務		219,745千円	215,307千円	①業者委託等による剪定・伐採等の管理	管理作業実施面積	業者委託等による剪定・伐採等の管理面積+みどりのパートナーによる除草・清掃等の管理面積+市民参加による保全緑地管理作業面積を指標とする。				
			根拠法令	R6予算現額		R6決算額(見込み)	②みどりのパートナーによる除草・清掃等の管理							
			ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例、所沢市市民の森設置要綱、所沢市市民緑地設置要綱、所沢市まちなかみどり保全地区設置要綱	208,048千円		203,822千円	③市民参加による保全管理作業	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析				
			事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費		R5その他職員従事割合	実績	40ha	53.17ha	R6目標値が未達成の理由・分析				
			地域制緑地を指定した緑地(市民の森等)や、市の買い入れや寄附によって取得した緑地の自然環境や植生、景観を将来に引き継ぐため、高木の剪定、不良木の伐採、除草等、適切な維持管理を行う。また、市民が安全にみどりと触れ合う場を提供するため、ナラ枯れ被害木をはじめとする危険木の伐採等を行うとともに、市民に公開している緑地の園内柵や、外周柵の設置及び修繕等を行う。	2.35人		0人	①25.54ha	R6目標	R6実績					
			期間	H6 ~		18,990千円	②24.34ha	40ha	51.03ha	目標達成済				
		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	③1.15ha										

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(所属)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費		成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
					会計	投入コスト	活動実績(R6)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目		
423	環境 クリーン部	みどり 自然課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	目標は達成している。引き続き、豊かなみどりを守り育て、未来の子どもたちに継承していくため、緑地保全制度の指定、及び公有地化によるみどりの保全の取り組みを進める。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを
			最優先	自治事務		70,335千円	67,216千円			①植生調査 ②みどりの公有地化	保全配慮地区における地域制緑地の指定面積 (指定面積(平成22年度からの累積(平成29年時点累積55ha)とし、令和10年度までに110haを目指すものである。))			R6目標値が未達成の理由・分析	13 気候変動に具体的な対策を
			根拠法令	都市緑地法、ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例、所沢市みどりの基本計画 等		R6予算現額	R6決算額(見込み)	71,340千円	71,089千円						R5目標
			事業の目的及び具体的な内容	里山保全地域等指定整備事業		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	1.25人	0人	実績	95ha			103.85ha	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			期間	H24 ~		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	10,101千円	0人	①413,049㎡ ②25,129㎡	R6目標			R6実績	どのように貢献したか
						0.92人	0人	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		98ha			106.06ha	みどりの基本計画に基づき指定を進めてきた里山保全地域については概ね目標を達成している。
						7,509千円	0人								今後も里山保全地域等の指定は行っていくものの、その保全管理に重きをおきつつ、消失の恐れのある緑地の公有地化についても引き続き検討する。
									評価者 みどり自然課長 金子 敦	緑地保全制度の指定や公有地化により、自然環境の維持や気候変動の抑制、良好な住環境の創出に貢献できた。					
423	環境 クリーン部	みどり 自然課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	補助金制度は、所有者から一定の評価は得ているが、管理には補助対象外の経費も伴う。このため管理に伴う所有者負担が大きいのことから、指定登録予定数に足りないばかりでなく、登録が解除され、伐採される場合がある。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを
			重要	自治事務		3,231千円	677千円			①保存樹木管理の補助件数 ②保存樹林管理の補助件数 ③ふるさとの樹管理の補助件数	ふるさとの樹の指定本数 本事業中、最も希少価値の高い、ふるさとの樹の本数を指標とした。			R5目標	R5実績
			根拠法令	ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例、所沢市保存樹木等支援事業補助金交付要綱		R6予算現額	R6決算額(見込み)	3,305千円	2,168千円						
			事業の目的及び具体的な内容	保存樹木等指定促進事業		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	0.45人	0人	①4件 ②10件 ③0件	R6目標			R6実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			期間	H27 ~		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	3,636千円	0人		50本			27本	どのように貢献したか
						0.35人	0人								市街地にある、指定が掛かっていない樹木の調査を行い、保存樹木制度について更なる周知を図り、新規発掘に努める。
						2,857千円	0人								評価者 みどり自然課長 金子 敦
423	環境 クリーン部	みどり 自然課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	グリーンカーペット促進事業とみどりの街並み創出事業を統合し、令和6年度よりみどりの創出事業としてスタートした。公立保育園に植えた芝生は管理を通じて概ね安定している。公共施設へ配布していた球根については、単価上昇によるコスト増に対し緑化創出の効果は限定的であり令和5年度をもって終了とした。一方で、市民に向けた花苗と苗木については、一定数を市民フェスティバルにて配布し、みどりへの意識醸成を図った。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを
			重要	自治事務		1,154千円	1,061千円			①イベントにおける花苗配布数 ②芝生維持管理実施園数	イベントにおける苗木配布数 街や住宅におけるみどりの創出と、市民の意識の高揚を図るため、イベントにおける苗木の配布数を指標とした。			R5目標	R5実績
			根拠法令	ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例、所沢市みどりの基本計画		R6予算現額	R6決算額(見込み)	1,007千円	988千円						
			事業の目的及び具体的な内容	みどりの創出事業		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	1.10人	0人	①595ポット ②4園	R6目標			R6実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			期間	H11 ~		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	8,889千円	0人		100本			97本	どのように貢献したか
						0.70人	0.05人								平成11年度より継続してきた本事業であるが、事業の内容がマンネリ化しつつある。引き続き事業の見直しを図り当初の目的を達成できるようにする。
						5,713千円	0.05人								評価者 みどり自然課長 金子 敦
423	環境 クリーン部	みどり 自然課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	令和3年度より、みどりの基本計画に定める緑化重点地区内の低未利用地にみどりのエコスポットを設置し、令和5年度で4か所となった。令和6年度も新たな設置箇所を検討したものの、エコスポットに適した土地が見つからなかった。まちなかであるがゆえに、低未利用地そのものが少ないことから、今後は事業の見直しも視野に入れる必要がある。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを
			優先	自治事務		5,200千円	4,730千円			①在来種の植樹本数 ②雨水浸透施設の設置	整備箇所数 事業用地の調査・検討、貸借契約、設計・工事委託、開設等の事務を経て、年に一か所の整備を目標とする。			R5目標	R5実績
			根拠法令	所沢市みどりの基本計画、所沢市マチごとエコタウン推進計画		R6予算現額	R6決算額(見込み)	0千円	0千円						
			事業の目的及び具体的な内容	みどりのエコスポット整備事業		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	0.90人	0人	①0本 ②0か所	R6目標			R6実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			期間	R3 ~		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	7,273千円	0人		1か所			0か所	どのように貢献したか
						0.06人	0人								新たに設置を試みるもエコスポットに適した土地がなく、令和7年度は予算化していない。今後は事業の見直しも視野に、制度のあり方について検討していく。
						490千円	0人								評価者 みどり自然課長 金子 敦

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(所属)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
					会計	投入コスト		活動実績(R6)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目		
423	環境クリーン部	みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	前のみどりの基本計画にて、上山口にある水田も含めた里山の景観を保全することが定められ、令和3年より事業を行ってきた。地元・関係団体の協力により、上山口掘口天満天神社周辺里山保全地域内に残された貴重な水田のある里山の景観を保全することができている。	R6年度に改善した点	13 気候変動に具体的な対策を	
			最優先	自治事務		1,796千円	1,721千円				①田植え作業実施 ②稲刈り作業実施	賃借契約、公有地化により水田を保全・担保した面積			地元・関係団体との協働により実施可能な耕作範囲について、市で地権者より借り受け、または公有地化により保全・担保した面積を目標とする。		R6年度に改善した点
			水田景観保全事業	根拠法令		R6予算現額	R6決算額(見込み)		実績	R5目標						R5実績	
				事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R6目標			R6実績						
				ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例、所沢のみどりの基本計画		1,970千円	1,850千円				0.44ha	0.44ha					
			期間	上山口掘口天満天神社周辺里山保全地域内に残されている貴重な水田を保全し、良好な都市環境の維持と多様な生物の生息・生育空間の確保を図るとともに、豊かな里山の景観を引き継いでいくことを目的とするものである。		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①1回	0.44ha	0.44ha	目標達成済	どのよう貢献したか					
			R3 ~	2.32人		0.1人	②1回				里山景観の保全によるまちなみづくりや、水辺環境の保全による気候緩和や生物の生息空間を創出した。						
		15,516千円	0人					水田耕作には専門的な知識や経験が必要であることに加え、地元・関係団体の担い手不足が深刻になっている。地元に限らず水田の景観保全に協力してもらえる団体、企業などへの働きかけを行うなど、担い手の確保に努める。	どのよう貢献したか								
		18,936千円	0人					事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう貢献したか								
423	建設部	公園課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	地権者と交渉を行いながら予定通りに取得を進めることができている。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを	
			最優先	自治事務		384,698千円	384,619千円				①用地取得面積	用地取得面積			事業の進捗を図るためには、用地確保が最重要となることから用地取得面積を目標値としている。		R6目標値が未達成の理由・分析
			北秋津・上安松地区都市緑地保全事業	根拠法令		R6予算現額	R6決算額(見込み)		実績	R5目標						R5実績	
				都市公園法・都市緑地法		222,962千円	222,677千円				2856.84㎡	2856.84㎡					
				事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①1,571.71㎡									
			期間	北秋津・上安松地区は、所沢のみどりの基本計画において、みどりの保全を重点的に推進する北秋津周辺保全配慮地区に位置付けられている。本地区では、土地区画整理事業を基本とした、まちづくり事業が行われており、地区内には柳瀬川段丘崖の斜面林や、平地林のまどりのある貴重なみどりが存在している。本事業は、これらのみどりを保全するため、令和2年度に都市緑地として都市計画決定した用地を取得するとともに、みどりの保全及び管理を行うものである。		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合					どのよう貢献したか					
			R3 ~ R8			0.90人	0人					事業期間内に用地取得が完了するよう、用地交渉を進める。			北秋津・上安松土地区画整理事業区域内のまどりの保全に貢献した。		
		7,273千円	0人					事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう貢献したか								
		7,346千円	0人					事業期間内に用地取得が完了するよう、用地交渉を進める。	北秋津・上安松土地区画整理事業区域内のまどりの保全に貢献した。								
423	建設部	河川課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	令和6年度は、団体数を増やすことができなかったが、これまでに3団体が加入して活動を継続している。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを	
			重要	自治事務		300千円	300千円				①活動団体数	活動団体数			地域に根付いた親しみのある多自然川づくりへの要望があることから、市との協働による多自然の川づくりを行う活動団体数を指標とする。		R6目標値が未達成の理由・分析
			ふるさとの川再生事業	根拠法令		R6予算現額	R6決算額(見込み)		実績	R5目標						R5実績	
				-		300千円	300千円				4団体	3団体					
				事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①3団体									
			期間	多自然の川づくりを推進するため、市民団体等と協働し、市が指定した河川・水路の区域を対象として、清掃及び除草、生物の保護、自然の再生活動等を行う。		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合					ふるさとの川再生事業は、年間を通じて水路の維持管理等を団体をお願いすることとなり、通常のアダプト事業よりも団体にかかる負担が大きいため、参加していただける団体が少ない。			どのよう貢献したか		
			H22 ~			0.30人	0人					加入団体を増やすため、河川の保全活動に取り組んでいる団体の活動状況と、活動箇所の整備状況について調査を行う。			草刈り等を行い、水の流れの保全に努めた。また、ホテル等の生物の保護に努めた。		
		2,424千円	0人					加入団体を増やすため、河川の保全活動に取り組んでいる団体の活動状況と、活動箇所の整備状況について調査を行う。	草刈り等を行い、水の流れの保全に努めた。また、ホテル等の生物の保護に努めた。								
		3,918千円	0人					加入団体を増やすため、河川の保全活動に取り組んでいる団体の活動状況と、活動箇所の整備状況について調査を行う。	草刈り等を行い、水の流れの保全に努めた。また、ホテル等の生物の保護に努めた。								
423	建設部	河川課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標を達成した。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを	
			重要	自治事務		7,287千円	7,283千円				①東川桜枝剪定	東川桜枝剪定延長			R2年度までは、東川遊歩道整備延長を指標としていたが、R2年度で遊歩道整備が完了したため、R3年度からは、東川桜枝剪定延長を指標としている。		R6目標値が未達成の理由・分析
			東川桜舞う遊歩道事業(COOL JAPAN FOREST構想事業)	根拠法令		R6予算現額	R6決算額(見込み)		実績	R5目標						R5実績	
				河川法		6,713千円	6,672千円				965m	965m					
				事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①1,635m									
			期間	「COOL JAPAN FOREST構想」における周辺環境整備の一環として、本市にとって重要な観光資源である東川沿いの桜並木(旭橋から柳瀬川合流点)及び遊歩道について、継続的に維持管理を行っていくものである。		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合					桜並木については、樹齢が高いので、倒木及び枯れ枝の落下等による被害が起きないように注意を払う。遊歩道についても、良好な環境が維持できるよう管理する。			どのよう貢献したか		
			H30 ~			0.40人	0人					桜の剪定等を行い、桜並木の保全に努めた。					
		3,232千円	0人					桜の剪定等を行い、桜並木の保全に努めた。									
		3,673千円	0人					桜の剪定等を行い、桜並木の保全に努めた。									

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(所属)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)					
					会計	投入コスト		活動実績(R6)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目						
423	建設部	河川課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		①砂川堀散策路整備	砂川堀散策路整備延長	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標を達成した。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを					
			優先	自治事務		36,035千円	30,915千円				R6予算現額	R6決算額(見込み)					R5目標	R5実績		R6目標値が未達成の理由・分析	
			根拠法令	所沢市水とみどりがつくるネットワーク計画		16,754千円	16,718千円					R6実績						0m			
			事業の目的及び具体的な内容	「水とみどりがつくるネットワーク」を構成する河川の一つである砂川堀の貴重な水とみどりを保全し、その自然を知り親しめる散策路を整備するものである。また、立ち枯れ、倒木の危険等がある河川敷内樹木について、剪定・伐採を行う。		R5正規職員人件費	0.45人	R5その他職員従事割合			0人	R6目標					0m				
			期間	R元 ~		R6正規職員人件費	3,636千円	R6その他職員従事割合			0人	R6実績					70m				
						R5正規職員人件費	0.75人	R5その他職員従事割合			0人	R6目標					72.3m				
						R6正規職員人件費	6,122千円	R6その他職員従事割合			0人	実績					①72.3m				
431	環境クリーン部	資源循環推進課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		①集団資源回収量	集団資源回収率(集団資源回収量/家庭ごみ量×100)	目標設定の考え方・根拠		B	世界最大の資源物輸入国である中国の輸入規制に加え、新聞・印刷用紙の需要減、物価上昇の影響で、リサイクル業界は依然として厳しい状況に置かれている。加えて地域団体の担い手の高齢化が進んでおり、従来の啓発活動だけでなく、事業を継続させる対策が必要である。	R6年度に改善した点	12 つくる責任 つかう責任					
			重要	自治事務		60,000千円	49,964千円				R6予算現額	R6決算額(見込み)					R5目標	R5実績		R6目標値が未達成の理由・分析	
			根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、所沢市集団資源回収事業報償金交付要綱		70,000千円	54,914千円					R6実績						13.0%			
			事業の目的及び具体的な内容	集団資源回収事業実施団体(自治会・町内会、子ども会等)が資源物(新聞、雑誌・雑がみ、段ボール、古布、アルミ缶・スチール缶、紙バック、生きびん)を集団資源回収事業取扱業者に引き渡す活動に対し、市は資源物1kgあたり7円(生きびんは1本当たり7円)の報償金を交付し、ごみの減量と資源化の推進を図る。		R5正規職員人件費	0.41人	R5その他職員従事割合			0人	R6目標					10.9%				
			期間	H3 ~		R6正規職員人件費	3,313千円	R6その他職員従事割合			0人	R6実績					10.6%				
						R5正規職員人件費	0.71人	R5その他職員従事割合			0人	実績					13.0%				
						R6正規職員人件費	5,795千円	R6その他職員従事割合			0人	実績					①7,845t				
431	環境クリーン部	資源循環推進課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		①粗大ごみ収集点数	再生家具の展示点数	目標設定の考え方・根拠		B	不要になった綺麗な家具はインターネットで簡単に取引出来るようになっているので再生出来るような家具の搬入が減ってきている中で、頒布できる再生家具に修繕し目標点数を目指している。	R6年度に改善した点	13 気候変動に具体的な対策を					
			重要	自治事務		17,752千円	16,284千円				R6予算現額	R6決算額(見込み)					R5目標	R5実績		R6目標値が未達成の理由・分析	
			根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		23,047千円	20,970千円					R6実績						1,798点			
			事業の目的及び具体的な内容	市民サービスの向上とリユースの推進を図るため、東西クリーンセンターにおいて実施していた粗大ごみ収集事業をリサイクルふれあい館において一元化し、「もったいないの心」推進事業の一環として実施していた「再生可能な家具の回収業務」も付加することにより、粗大ごみの収集から再生・頒布、廃棄までを一体的に行う。		R5正規職員人件費	5.13人	R5その他職員従事割合			6人	R6目標					1,770点				
			期間	H29 ~		R6正規職員人件費	41,456千円	R6その他職員従事割合			6人	R6実績					1,661点				
						R5正規職員人件費	6.22人	R5その他職員従事割合			6人	実績					①26,136点				
						R6正規職員人件費	50,768千円	R6その他職員従事割合			6人	実績					②1,483点				
431	環境クリーン部	資源循環推進課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		①再生家具頒布申込者数	再生家具頒布申込者数	目標設定の考え方・根拠		B	粗大ごみや資源物の搬入量が減少していることは、ごみ自体が減少していることなので良いことだが、リユース、リサイクルの観点からみると成果が出ていない。	R6年度に改善した点	13 気候変動に具体的な対策を					
			重要	自治事務		10,002千円	10,382千円				R6予算現額	R6決算額(見込み)					R5目標	R5実績		R6目標値が未達成の理由・分析	
			根拠法令	所沢市リサイクルふれあい館条例、所沢市リユース品頒布事務取扱条例、不用品登録事業事務取扱要綱		15,405千円	14,864千円					R6実績						21,868人			
			事業の目的及び具体的な内容	「もったいない心」を大切に、ごみの減量・資源化に取り組むとともに、循環型社会の形成のための3Rのひとつであるリユース及びリサイクルを暮らしに定着させる。①再生家具：粗大ごみとして排出された木製家具を手直しした後、館内で展示のうえ抽選で月2回頒布。小型家具については常設頒布。②東所沢エコステーションにて市民から持ち込まれる資源物を受け付けている。		R5正規職員人件費	1.25人	R5その他職員従事割合			5.35人	R6目標					21,000人				
			期間	H15 ~		R6正規職員人件費	10,101千円	R6その他職員従事割合			5.35人	R6実績					20,989人				
						R5正規職員人件費	1.25人	R5その他職員従事割合			5.35人	実績					①小型家具 834人				
						R6正規職員人件費	10,203千円	R6その他職員従事割合			5.35人	実績					②14,645人				

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(所属)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)																					
					会計	投入コスト		活動実績(R6)		成果指標		総合評価	評価理由		現状の課題	事業自体が貢献する項目																			
431	環境 ク リ ン 部	資源 循環 推進 課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値には、達しているが、前年度より減少している。より多くの市民に施設の利用を知らせてもらえる工夫が必要である。	R6年度に改善した点	13 気候変動に具体的な対策を																			
			重要	自治事務		5,461千円	5,328千円				①リサイクルふれあい館及び東所沢エコステーション来館者数 ②講習会参加者数	リサイクルふれあい館の来館者数は、正面玄関の自動ドアカウンターによる。講習会参加者数は、3R講習会、包丁研ぎ講習会による。					啓発施設であるリサイクルふれあい館及びリユース、リサイクル品の引き取り場所である東所沢エコステーションについて、一人でも多くの市民に施設の存在を知ってもらい、利活用していただくことが目的であることから実績を基にしている。	R6年度に改善した点	15 陸の豊かさを守ろう																
			根拠法令	所沢市リサイクルふれあい館条例、所沢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例		R6予算現額	R6決算額(見込み)													R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう に貢献したか											
			事業の目的及び具体的な内容	①小学4年生社会科見学等見学者の印象に残る館内展示(遊び心を取り入れた)わかりやすい解説で環境学習を充実する。②催事の企画開催(エコまつり、エコロ市、出張エコロ市、市民フェスティバル)等による市民へのPR事業。③館内展示のほか、ホームページや情報誌発行による情報提供の研究。④暮らしの中で3R(Reduceリデュース=発生抑制、Reuseリユース=再利用、Recycleリサイクル=再生利用)を実践するための場として、おもちゃの病院や傘修理、各種講座等の開催。		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合																		実績	R6目標	R6実績	目標達成済み	多くの市民に3Rについて知ってもらうことで、市民一人一人の環境意識の向上に貢献した。						
			期間	H15 ~		1.00人	会 年 職 員 等	1.05人																						60,000人	64,984人	R6目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう に貢献したか	
						8,081千円																								60,000人	63,480人				R6目標値が未達成の理由・分析
		1.00人	会 年 職 員 等	1.05人			R6目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう に貢献したか																										
		8,162千円								R6目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう に貢献したか																							
432	環境 ク リ ン 部	資源 循環 推進 課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会計	R5予算現額							R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	生ごみ処理機奨励金については、関心が高まっているため、今後制度を整備していく必要がある。	R6年度に改善した点	13 気候変動に具体的な対策を													
			優先	自治事務		6,034千円							3,350千円				①生ごみ減量講習会開催数及び参加者数 ②水切りダイエット及び生ごみ減量チラシの配布人数 ③生ごみ減量化・資源化推進奨励金交付人数	生ごみ減量講習会参加人数及び水切りダイエット配布人数及び生ごみ減量化・資源化推進奨励金交付人数					生ごみの約7割から8割は水分と言われている。家庭から出る生ごみの水分を少なくしてもらうよう、生ごみ減量講習会を開催し、各家庭で実践してもらう。またイベント等で水分を取る器具(水切りダイエット)を配布して、生ごみ減量の周知を図る。更に生ごみ処理機奨励金を交付することで生ごみの減量に高い意識を持ってもらう。	R6年度に改善した点	14 海の豊かさを守ろう										
			根拠法令	循環型社会形成推進基本法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、所沢市生ごみ減量化・資源化を推進するための奨励金に関する要綱		R6予算現額							R6決算額(見込み)													R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう に貢献したか					
			事業の目的及び具体的な内容	本事業は、家庭から出る燃やせるごみの約4割といわれる生ごみを減量するため、家庭で簡単にできる生ごみ処理の方法について普及啓発を図り、生ごみ処理機等を購入した市民に80,000円を限度額として奨励金を交付する。購入金額が30,000円以下の場合は、購入金額に3分の2を乗じて得た額。購入金額が30,001円以上の場合、購入金額に3分の2を乗じて得た額と、その額から20,000円を引いた額に4分の1を乗じた額を合計した額。(どちらも100円未満切捨て)さらに、イベント等を通じて生ごみ削減の啓発品やチラシを配布する。		R5正規職員人件費							R5その他職員従事割合																		実績	R6目標	R6実績	目標達成済み	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			期間	R4 ~		0.72人	会 年 職 員 等	0.1人	6,000人				6,788人	R6目標値が未達成の理由・分析																					
						5,818千円			6,000人	6,788人	R6目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう に貢献したか																						
		0.72人	会 年 職 員 等	0.1人			R6目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう に貢献したか																										
		5,877千円								R6目標値が未達成の理由・分析					事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう に貢献したか																			
433	環境 ク リ ン 部	資源 循環 推進 課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会計	R5予算現額											R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	令和6年7月に改定された一般廃棄物処理基本計画をもとに、慎重かつ丁寧な審議を行っており、今後の目標、施策等について、十分な議論を行うことができています。	R6年度に改善した点	12 つくる責任 つかう責任									
			最優先	自治事務		7,267千円											576千円				①審議会開催日数	所沢市廃棄物減量等推進審議会の年間開催日数					ごみの減量・資源化施策を審議する、所沢市廃棄物減量等推進審議会の開催日数を指標とした。	R6年度に改善した点	13 気候変動に具体的な対策を						
			根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、所沢市一般廃棄物処理基本計画(令和元年改訂版)		R6予算現額								R6決算額(見込み)			R5目標	R5実績												R6目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう に貢献したか			
			事業の目的及び具体的な内容	ごみ減量・資源化施策については、広く市民及び事業者へ周知し、理解を求めながら取り組みを進めていくことが不可欠であることから、必要に応じて所沢市廃棄物減量等推進審議会で議論をしながら進めている。令和6年度は、所沢市一般廃棄物処理基本計画を改訂し、計画に沿った具体的な施策について検討を行った。		R5正規職員人件費					R5その他職員従事割合		実績	R6目標																			R6実績	目標達成済み	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			期間	R3 ~		0.76人	会 年 職 員 等	0人	5回開催		5回開催	R6目標値が未達成の理由・分析																							
						6,142千円			5回開催	3回開催	R6目標値が未達成の理由・分析				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう に貢献したか																			
		0.76人	会 年 職 員 等	0人			R6目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう に貢献したか																										
		6,203千円								R6目標値が未達成の理由・分析									事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう に貢献したか															
433	環境 ク リ ン 部	資源 循環 推進 課	実施計画ランク	事業の種類別	一般 会計	R5予算現額											R5決算額				項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	最終処分場建設工事については、目標としていた出来高に到達することが出来た。	R6年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに							
			最優先	自治事務		1,025,689千円							947,118千円				①最終処分場建設工事の進捗率	最終処分場建設工事の進捗率					自区内処理の原則に基づき、新たな最終処分場を整備する必要があるため、各段階における成果指標を設定した。令和5年度に最終処分場建設工事を開始したことから、事業進捗に伴う、工事の進捗率を成果指標とした。	R6年度に改善した点					11 住み続けられるまちづくりを						
			根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、所沢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例		R6予算現額						R6決算額(見込み)		R5目標																R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう に貢献したか		
			事業の目的及び具体的な内容	市内で発生する一般廃棄物の最終処分については、市外の最終処分場と市内の北野一般廃棄物最終処分場で行ってきたが、北野一般廃棄物最終処分場は平成17年3月末日をもって埋立が終了した。現在は全量を県営の処分場や県外の民間処分場へ搬出していることから、自区内処理の原則に基づき、市内に新たな一般廃棄物最終処分場を整備する事業である。		R5正規職員人件費					R5その他職員従事割合		実績		R6目標	R6実績																		目標達成済み	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			期間	H11 ~ R7		5.25人	会 年 職 員 等	0.8人	13.0%		13.0%	R6目標値が未達成の理由・分析																							
						42,425千円			76.0%	76.96%	R6目標値が未達成の理由・分析								事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう に貢献したか															
		5.46人	会 年 職 員 等	0.3人			R6目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう に貢献したか																										
		44,565千円								R6目標値が未達成の理由・分析							事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのよう に貢献したか																	

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(所属)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費		成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
					会計	投入コスト		活動実績(R6)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
433	環境クリーン部	資源循環推進課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	本年度実施予定の全ての項目における各段階を、達成することができた。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを
			最優先	自治事務	9,477千円	4,840千円		①浸透井設置等の対策 [2段階: 測量(R6)・設計工事] ②市道2-406号線拡幅整備 [5段階: 設計・工事(R6)・測量設計(R6)・用地買収・工事] ③南永井下組自治会館建設 [4段階: 測量(R6)・設計・用地取得・工事]	周辺整備7項目の20段階の進捗状況	平成31年に2自治会から周辺整備について多数要望があった内、7項目20段階の整備完了を、成果指標とした。						
			根拠法令	下水道法、道路法等	R6予算現額	R6決算額(見込み)					R5目標	R5実績				
			第2一般廃棄物最終処分場整備に伴う周辺整備事業	事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		実績	15.0%	10.0%	R6目標値が未達成の理由・分析					
			令和7年度の供用開始を目指し整備を進めている第2一般廃棄物最終処分場の周辺地域(大字坂之下地区、大字南永井地区)について、生活環境の向上を図る観点から、都市基盤の整備等を図るものである。	2.35人	0.8人	R6目標	R6実績									
			期間	R5 ~	18,990千円	0.3人	35.0%					35.0%				
							R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		①1/2(測量:済)	目標達成済					
				3.34人	0.3人	②2/5(工事・測量設計:済)										
				27,261千円	0.3人	③1/4(測量:済)										
433	環境クリーン部	資源循環推進課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	業務委託契約を適正に締結することができた。	R6年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
			重要	自治事務	-	-		①包括運営業務委託契約締結	包括運営維持管理者との契約締結状況	令和7年10月からの運営維持管理業務を円滑に進めるため、業者選定及び契約締結等の事務を行い、滞りなく契約締結することを成果指標とした。						
			根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	R6予算現額	R6決算額(見込み)					R5目標	R5実績				
			第2一般廃棄物最終処分場運営維持管理事業	事業の目的及び具体的な内容	-	-		実績	-	-	R6目標値が未達成の理由・分析					
			令和7年10月に供用を開始する第2一般廃棄物最終処分場において、施設の運営及び維持管理に関する業務の最適化及び効率化を図るために、包括的な業務委託を実施すると共に、処分場の安心かつ安定した運営を目的に監理、監督を行うものである。	0千円	0千円		R6目標					R6実績				
			期間	R6 ~	0.05人	0人	0					0				
							R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		①令和7年3月19日契約締結済	契約の締結					
				408千円	0人											
433	環境クリーン部	東部クリーンセンター	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を達成しており、事業の目的である安定した質の高い施設運営が実施されていることをモニタリングなどにより確認した。また、令和7年度から家庭ごみ等受入業務のうち、受付計量業務の委託が開始されるが、令和6年度中に適切に業務の引き継ぎが行われた。	R6年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
			重要	自治事務	1,468,713千円	1,448,941千円		①長期包括運営業務 ②家庭ごみ等受入業務	長期包括運営事業の施設運営に起因する計画外のごみ受入れ停止回数	長期包括運営事業における適正かつ安定した施設運営を目標とする。						
			根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	R6予算現額	R6決算額(見込み)					R5目標	R5実績				
			東部クリーンセンター長期包括運営事業	事業の目的及び具体的な内容	1,879,282千円	1,863,126千円		実績	0回	0回	R6目標値が未達成の理由・分析					
			安定した質の高い施設運営や用役調達コストの削減を図るため、東部クリーンセンターにおいて、施設の運転管理、用役調達、点検補修等の施設運営業務を包括的に委託する。	2.55人	0人	R6目標	R6実績									
			期間	H26 ~ R17	20,607千円	0人	0回					0回				
							R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		①長期包括委託による安定した施設運営を実施した。 ②家庭ごみ等受入業務を適切に実施した。 ③モニタリング業務委託及び職員による履行状況の確認により、運営状況が良好であることを確認した。	目標達成済み					
				2.00人	0人											
				16,324千円	0人											
433	環境クリーン部	西部クリーンセンター	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名		目標設定の考え方・根拠		A	受託事業者の経営能力や技術能力を活用することにより、運転維持管理や受入業務などの運営を効率的に実施することができた。また、補修工事や薬品・用役などの調達・管理に係る施設の維持管理経費を低減させることができた。	R6年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
			重要	自治事務	931,041千円	900,278千円		①長期包括運営業務 ②家庭ごみ等受入業務	長期包括運営事業の施設運営に起因する計画外のごみ受入れ停止回数	長期包括運営事業における適正かつ安定した施設運営を目標とする。						
			根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	R6予算現額	R6決算額(見込み)					R5目標	R5実績				
			西部クリーンセンター長期包括運営事業	事業の目的及び具体的な内容	1,109,413千円	1,081,839千円		実績	0回	0回	R6目標値が未達成の理由・分析					
			安定した質の高い施設運営や用役等調達コストの削減を図るため、西部クリーンセンターにおいて、施設の運転管理、用役調達、点検補修等の施設運営業務を包括的に委託する。	0.95人	0人	R6目標	R6実績									
			期間	H28 ~ R14	7,677千円	0人	0回					0回				
							R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合		①長期包括運営業務委託による安定した施設運営を実施した。 ②家庭ごみ等受入業務を適切に実施した。 ③モニタリング業務委託及び職員による履行状況の確認により、運営状況が良好であることを確認した。	目標達成済み					
				1.05人	0人											
				8,570千円	0人											

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(所属)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)							
					会計	投入コスト		活動実績(R6)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目								
433	環境クリーン部	収集管理事務所	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	燃料費高騰や鉄等の資材高騰が続いているため、省燃費につながるようエコドライブを心掛けると共に、車両修繕を減らすため始業点検やこまめなグリスアップを行うなど、車両の延命を図り経費削減に努めていきたい。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを									
			重要	自治事務		64,920千円	62,442千円						①年間ごみ収集量 ②年間経費		1トンあたりの収集経費 年間経費÷年間ごみ収集量	生活ごみの効果的な収集を目的としているので、1トンあたりの収集に係る経費を指標とする。目標値としては、前年度を下回ることを目標とした。	R6年度に改善した点						
			根拠法令	所沢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例		R6予算現額	R6決算額(見込み)										80,759千円	76,639千円	R6目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			
			ごみ収集事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合						50.85人		5人	実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	燃料費の高騰や、鉄等の資材が高騰したことで車両修繕費や自動車購入費が増額したため。	R6目標	R6実績	どのよう貢献したか
				市民の生活ごみとして、ごみ集積所に排出された廃棄物の適正処理及び再資源化により、公衆衛生環境の向上及び循環型社会の確立を実現するため、ごみの分別を徹底し、効率的に収集を行う。また、これに伴うごみ集積所の設置・維持管理についての指導及び清掃車両の整備並びにごみ集積所情報管理システムの運用管理を行う。		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合						410,919千円		5人		①17,476t	26,833円/t			27,466円/t	生活に伴って排出される家庭ごみを安定的に収集運搬することは、生活の基盤に不可欠なものとして貢献している。	
						期間	S26 ~						49.42人		5人		②480,005千円					本事業は、家庭から排出されるごみの分別による資源物の有効活用を促進し、循環型社会の確立を目指すものであり、市民の理解と協力が必要であることから、ごみの分別についての啓発や指導を引き続き行っていく。	
433	環境クリーン部	収集管理事務所	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	利用を終了する世帯数については予測できないものの、利用開始世帯については、潜在的な需要が見込まれている。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを									
			重要	自治事務		1,099千円	1,022千円						①年間利用世帯数 ②年間利用予定世帯数		年間利用世帯	当制度について周知・啓発し、利用拡大を図るため、年間利用世帯数とする。目標としては、年間利用予定世帯数を目的とした。	R6年度に改善した点						
			根拠法令	所沢市ふれあい収集実施要綱		R6予算現額	R6決算額(見込み)										1,586千円	1,393千円	R6目標値が未達成の理由・分析	希望者へは安否確認を行っているため、事業内容には福祉的な側面が強い。そのため、より細やかな対応や利用者の緊急事態に対応出来るよう研修を行った。			
			ふれあい収集事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合						6.25人		0人	実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	施設入所や家族との同居または逝去等の理由により、利用開始した世帯よりも終了した世帯が多かったため。	R6目標	R6実績	どのよう貢献したか
				高齢又は障害等により、家庭から排出するごみを自らごみ集積所に出すことが困難な市民の生活環境の向上及び安全確保のため、当該事業利用者宅の戸口において直接ごみの収集を行う。さらに、希望者には、声かけを行い安否確認を行う。		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合						50,506千円		0人		①716世帯	750世帯			716世帯	高齢者など自らごみ集積所にごみを出すことが困難な市民の生活環境の向上と安全確保に貢献している。	
						期間	H17 ~						6.40人		0人		②750世帯					今後、「ふれあい収集」の利用者の増加が見込まれることから、担当者の育成をはじめ、社会情勢の変化へ臨機応変に対応できるよう、「ふれあい収集」に関わる人員体制について検討していく。	
433	環境クリーン部	収集管理事務所	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	安定的な収集運搬体制が維持できていると判断する。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを									
			重要	自治事務		884,235千円	884,235千円						①ごみ収集量 ②収集稼働日数		民間事業者への委託割合 委託地区の世帯数/市内の全世帯数	市民生活の生活環境の保全と公衆衛生の向上を図るため、安定的な収集運搬体制を確保する必要がある。また、現業職員不補充であり、計画的に委託拡大を図ることが重要であることから、委託割合を指標とした。	R6年度に改善した点						
			根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、所沢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例		R6予算現額	R6決算額(見込み)										885,170千円	885,170千円	R6目標値が未達成の理由・分析	受注者と車両火災発生時の対応など、業務に関わる諸課題について情報共有を図るための定例会議を年3回開催した。			
			一般廃棄物収集運搬業務委託事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合						2.05人		0人	実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	目標達成済	R6目標	R6実績	どのよう貢献したか
				将来にわたり安定した収集体制を維持するため民間委託し、市民生活の生活環境の保全、公衆衛生の向上を図る。市民が年間ごみ日程表に基づき委託地区内のごみ集積所に出したごみを委託業者が収集し、東部・西部クリーンセンター等に運搬する。		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合						16,566千円		0人		①40,530t	70.0%			70.0%	安定的な収集運搬体制を維持するとともに、本業務の委託率を維持できるように安全で効率的、かつ、遅滞なく業務に取り組むよう指導し、サービスの向上に努めていく。	
						期間	H17 ~						2.65人		0人		②258日					生活に伴って排出される家庭ごみを安定的に収集運搬することは、生活の基盤に不可欠なものとして貢献している。	
441	環境クリーン部	環境対策課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	毎年、成果指標の目標値を達成しているため。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任									
			重要	自治事務		2,080千円	1,815千円						①行政によるばい煙測定実施事業所 ②基準適合事業所数		大気規制対象事業所のばい煙に係る排出基準適合率 (行政によるばい煙測定実施事業所数/基準適合事業所数×100)	規制対象事業所への立入検査等により、各施設から排出される大気汚染物質を削減し、大気汚染を防止することが当該事業の目的となっているため、行政測定を行う事業所のばい煙に係る排出基準適合率を指標とする。	R6年度に改善した点						
			根拠法令	大気汚染防止法、埼玉県生活環境保全条例、所沢市ダイオキシン類等の汚染防止に関する条例		R6予算現額	R6決算額(見込み)										2,126千円	1,803千円	R6目標値が未達成の理由・分析	立入検査時の自主測定結果確認の際、例年は、持参した記録表にデータを書き写していた。昨年度は、事業所の自主測定結果を写真で記録し、立入検査業務の効率化を図った。			
			大気規制対象事業所検査事業	事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合						0.74人		0人	実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	目標達成済	R6目標	R6実績	どのよう貢献したか
				ばい煙の排出状況や施設の管理状況など、法令に基づき、その遵守状況を検査する。(ばい煙排出状況の行政検査や報告の徴収を含む。) ①検査計画の作成②対象事業所への報告徴収の実施(規制基準への適合状況)③排出ガス量が多い又は規制基準の適合状況が思わしくない事業所を優先しながら立入検査を実施④規制基準に適合しない事業所への改善指導等により、各施設から排出される汚染物質を削減し、大気汚染を防止する。		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合						5,980千円		0人		①6事業所	100.0%			100.0%	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
						期間	S59 ~						0.78人		0人		②6事業所					今後も、立入検査を継続することで、事業者の環境意識の向上を図っていく。	

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(所属)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
					会計	投入コスト		活動実績(R6)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
442	環境クリーン部	資源循環推進課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	放流先を確保できないため申請を断念するケースもある。また、補助を受けても費用負担が少なく、現状の単独処理浄化槽でも問題なく生活出来ており、必要性を感じていないケースも多い。	R6年度に改善した点	6 安全な水とトイレを世界中に	
			重要	自治事務		6,240千円	0千円									
			根拠法令	浄化槽整備補助事業		R6予算現額	R6決算額(見込み)	①補助金交付	補助金交付件数	当市の近年の申請数に照らし合わせると妥当と考えられる。	11 住み続けられるまちづくりを					
						6,240千円	672千円									
			事業の目的及び具体的な内容	浄化槽整備の費用について補助金を交付することにより、生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与するためである。		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析						
						0.70人	0人									
			期間	H5 ~		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	R6目標	R6実績	合併処理浄化槽への転換の希望があっても、放流先が確保できない等、補助要件を満たせない場合がある。また、設置工事に係る使用者の負担が大きいため、設置工事に係る使用者の負担が大きいため、申請が少なかったものとする。						
5,657千円	0人															
		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析										
		0.50人	0人													
		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	R6目標	R6実績	合併処理浄化槽への転換の希望があっても、放流先が確保できない等、補助要件を満たせない場合がある。また、設置工事に係る使用者の負担が大きいため、設置工事に係る使用者の負担が大きいため、申請が少なかったものとする。										
		4,081千円	0人													
442	建設部	河川課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標を達成した。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを	
			重要	自治事務		54,157千円	48,327千円									
			根拠法令	河川・水路維持管理事業		R6予算現額	R6決算額(見込み)	①維持管理(清掃)	要望・通報処理件数	維持管理の成果を測るには、要望の大部分を占める除草や清掃への対応件数を指標とすることが適しているため。	13 気候変動に具体的な対策を					
						43,505千円	43,174千円									
			事業の目的及び具体的な内容	1、河川の氾濫による浸水被害等の防止を図るため、改修・整備を行う。 2、パトロールや市民等の要望により、清掃・除草および修繕等を行う。 3、地域に根づく川づくりを目指し、維持管理の一部を委託する。 4、「水辺のサポーター制度」事業の推進。		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析						
						5.25人	0人									
			期間	S25 ~		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	R6目標	R6実績	目標達成済						
42,425千円	0人															
		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析										
		5.40人	0人													
		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	R6目標	R6実績	目標達成済										
		44,075千円	0人													
444	環境クリーン部	環境対策課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	公害苦情相談は、相談者の感覚に起因することが多く、対応が困難なケースもあるが、R6年度は目標値を達成することができたため。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを	
			重要	自治事務		4,630千円	3,790千円									
			根拠法令	公害等苦情相談事業		R6予算現額	R6決算額(見込み)	①苦情相談対応件数	苦情相談解決率(解決件数/対応件数×100)	苦情相談解決率(解決件数/対応件数×100)	11 住み続けられるまちづくりを					
						5,649千円	5,194千円									
			事業の目的及び具体的な内容	騒音、振動、悪臭をはじめとする各種公害に係る苦情相談を電話・メール・窓口等を通して受け付け、苦情発生源の調査、指導、助言等を行い解決を図る。		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析						
						1.89人	1.7人									
			期間	S47 ~		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	R6目標	R6実績	目標達成済						
15,273千円	1.7人															
		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析										
		2.24人	1.7人													
		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	R6目標	R6実績	目標達成済										
		18,283千円	1.7人													
444	環境クリーン部	生活環境課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	参加人数は目標に到達しなかったが、ボランティア活動として捉え、目標の7割を達成している(及第点)と考える。今後、目標達成の為に、より一層の周知啓発に努めることとする。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを	
			重要	自治事務		8,771千円	7,907千円									
			根拠法令	「環境美化の日」市内一斉美化清掃活動事業		R6予算現額	R6決算額(見込み)	①ごみ回収実績	環境美化活動における参加人数	世帯数×3割(春・秋いずれかで3割の世帯から1人は参加してもらいたいという考えによる)	17 パートナリシップで目標を達成しよう					
						9,421千円	8,854千円									
			事業の目的及び具体的な内容	市民参加による市内全域での環境美化清掃活動を春、秋の年に2回実施することにより、快適な生活環境を確保する。		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析						
						0.58人	1人									
			期間	S57 ~		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	R6目標	R6実績	自治会・町内会未加入の問題や、構成員の高齢化も原因の一つと考えられる。若い世代においては、既存のコミュニティへの参加に抵抗がある可能性も考えられる。						
4,687千円	1人															
		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析										
		0.58人	1人													
		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	R6目標	R6実績	自治会・町内会未加入の問題や、構成員の高齢化も原因の一つと考えられる。若い世代においては、既存のコミュニティへの参加に抵抗がある可能性も考えられる。										
		4,734千円	1人													

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(所属)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)									
					会計	投入コスト		活動実績(R6)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目										
444	環境クリーン部	生活環境課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	目標には至らなかった為、今後の活動には積極的に参加してもらえよう、推進員に対し、より一層働きかけていくこととする。	R6年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに									
			重要	自治事務		12,555千円	12,244千円										環境推進員1人あたりの活動回数	環境推進員それぞれが2ヶ月に1度程度の活動を行うと期待したもの。							
			根拠法令	所沢市環境推進員設置要綱		R6予算現額	R6決算額(見込み)												①委嘱人数 ②事業参加延べ人数						
				事業の目的及び具体的な内容		12,454千円	11,590千円																		
				環境推進員活動促進事業		R5正規職員人件費	0.75人	R5その他職員従事割合												1人					
			期間	H8 ~		6,061千円	会年職員等	1人											実績	6回	4.2回	R6目標値が未達成の理由・分析	R6目標	R6実績	自治会・町内会未加入の問題や、構成員の高齢化によるのも原因の一つと考えられる。
						R6正規職員人件費	0.64人	R6その他職員従事割合											1人	①1,029人	6回	4.3回	R6目標	R6実績	
		5,224千円	会年職員等	1人	②4,435人																				
													事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	17 パートナースhipで目標を達成しよう											
													各地区の活動支援を、今後も引き続き必要な情報提供等を行っていく。	どのように貢献したか	環境保全に対する関心と理解を深め、実践的活動を行った。										
													評価者												
													生活環境課長 日高 義行												
444	環境クリーン部	生活環境課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	改善率は下がってしまったが、文書指導に応じず特に酷いケースについては、前年度に引き続き所有者宅を訪問し、直接指導を行った。前年度と比較して直接指導件数を増やした。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを									
			重要	自治事務		1,222千円	937千円										①指導箇所 ②改善箇所 ③改善率								
			根拠法令	所沢市あき地の雑草除去に関する条例		R6予算現額	R6決算額(見込み)											R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合						
				事業の目的及び具体的な内容		1,275千円	1,271千円																		
				あき地の雑草除去指導事業		1.72人	会年職員等	1人												実績	100.0%	87.3%	R6目標値が未達成の理由・分析	R5目標	R5実績
			期間	S44 ~		13,899千円	会年職員等	1人										①41	R6目標	R6実績	①所有者の高齢化に伴い、管理が不十分であること(現地を見に行けない)、年金生活者は収入が少なく、医療費がかさむことなどを理由とする除草費用の捻出困難、②適正管理意識の欠如による。	100.0%	68.3%		
						1.72人	会年職員等	1人										②28							
		14,039千円	会年職員等	1人	③68.3%																				
													事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	あき地を適正に管理することにより、害虫の発生、犯罪の発生、ゴミの不法投棄などを抑制することができた。										
													評価者												
													生活環境課長 日高 義行												
444	環境クリーン部	生活環境課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標は達成しており、継続的な成果が得られている。	R6年度に改善した点	6 安全な水とトイレを世界中に									
			重要	自治事務		15,444千円	14,768千円										①くみ取り件数 ②くみ取り量 ③くみ取り手数料								
			根拠法令	所沢市一般家庭生活廃水くみ取りに関する条例		R6予算現額	R6決算額(見込み)											R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合						
				事業の目的及び具体的な内容		15,048千円	14,255千円																		
				一般家庭生活廃水くみ取り事業		0.46人	会年職員等	0人												実績	100.0%	100.0%	R6目標値が未達成の理由・分析	R5目標	R5実績
			期間	S46 ~		3,717千円	会年職員等	0人										①726回	R6目標	R6実績	目標達成	100.0%	100.0%		
						0.46人	会年職員等	0人										②1,672,850							
		3,755千円	会年職員等	0人	③1,003,710円																				
													事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	生活廃水を適正に処理することにより、地下水や河川の汚染を防止した。										
													評価者												
													生活環境課長 日高 義行												
444	環境クリーン部	生活環境課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R5予算現額	R5決算額		項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	所沢狂犬病予防協会や市内動物病院と連携して集合狂犬病予防注射や注射済票の交付を行うとともに、所沢狂犬病予防協会や市内動物病院と連携して集合狂犬病予防注射の会場をよりアクセスの良い場所に変更することで、より多くの飼い主に来ていただけるよう工夫した。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを									
			重要	自治事務		4,691千円	4,262千円										①新規登録枚数 ②登録頭数 ③注射済票交付枚数								
			根拠法令	狂犬病予防法		R6予算現額	R6決算額(見込み)											R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合						
				事業の目的及び具体的な内容		5,809千円	5,423千円																		
				犬の登録・狂犬病予防注射管理事業		1.13人	会年職員等	1人												実績	100.0%	75.2%	R6目標値が未達成の理由・分析	R5目標	R5実績
			期間	H12 ~		9,132千円	会年職員等	1人										①1,274枚	R6目標	R6実績	犬の持病等で狂犬病予防注射の猶予を受けている犬がいる。また、犬の死亡届の未提出や、狂犬病予防注射を摂取していても注射済票の交付手続きを行わない飼い主がいるため、制度の周知・啓発活動が必要である。	100.0%	76.9%		
						1.13人	会年職員等	1人										②14,933頭							
		9,223千円	会年職員等	1人	③11,486枚																				
													事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	接種率の向上及び飼い主のマナー向上について、より効果がある方法を研究する。										
													評価者												
													生活環境課長 日高 義行												

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(所属)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費		成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
					会計	投入コスト	活動実績(R6)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
444	環境 クリーン部	生活 環境課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	概ね条例の内容は周知され、喫煙者のマナーも向上していると考えられるため。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を	
			重要	自治事務	1,831千円	1,923千円	①駅前キャンペーン実施箇所	市内4カ所(主な駅前)の平均路上歩行者喫煙率(成人歩行者に対する歩行喫煙者の割合)	条例を周知し、遵守することで危険、迷惑な歩きタバコや路上喫煙行為をなくすため、違反者が0パーセントであることを目標とする。				R6年度に改善した点		
			根拠法令	所沢市歩きタバコ等の防止に関する条例	R6予算現額	R6決算額(見込み)	②路面シートの貼付枚数	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析			達成済み		11 住み続けられるまちづくりを
					1,450千円	1,446千円	③歩きタバコ等防止パトロール実施回数		R6目標						R6実績
			事業の目的及び具体的な内容	危険、迷惑な歩きタバコ、ポイ捨てをなくし、喫煙者のマナー向上を図るため、キャンペーン、パトロール等による条例の周知啓発活動を実施するとともに、喫煙禁止地区での禁煙を徹底するため、路上喫煙禁止地区内の路面シートの貼付や指定喫煙所の維持管理を行う。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	0.0%	0.04%	R6目標			R6実績		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
					0.83人	1人	①2回	0.0%	0.0%				どのよう貢献したか		
			期間	H18 ~	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	②27枚			R6目標			R6実績		条例施行後の路上喫煙率の推移をみると、一定の効果は上がっており喫煙マナーの向上も図られているが、一部喫煙マナーが守られていない状況があることから、今後も継続して職員によるパトロールを行い、条例違反者への声かけを実施していく。
					0.83人	1人	③12回								
		6,707千円							どのように貢献したか						
		6,774千円							受動喫煙にも配慮し、パトロール等で条例周知啓発に努めた。						
									どのように貢献したか						
445	環境 クリーン部	環境 対策課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	毎年、成果指標の目標値を達成しているため。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を	
			重要	法定受託事務	2,328千円	2,149千円	①調査検体数	調査実施率(有効調査検体数/調査計画検体数×100)	埼玉県の実施計画で、大気：3地点を4回/年、河川水・底質：各2地点を1回/年、土壌：2地点を1回/年、地下水：1地点を1回/年の年19検体が測定数として定められているため、すべての項目を市で実施することを目標として設定している。				R6年度に改善した点		
			根拠法令	ダイオキシン類対策特別措置法	R6予算現額	R6決算額(見込み)	②調査計画検体数	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析			目標達成済		11 住み続けられるまちづくりを
					2,331千円	2,185千円	①19検体		100.0%						100.0%
			事業の目的及び具体的な内容	ダイオキシン類による大気・水質・土壌等の汚染状況を常時監視し、当該結果をダイオキシン類による汚染対策に係る施策の基礎資料とすることを目的とする。具体的には、大気については埼玉県が定めたダイオキシン類大気常時監視実施計画に基づき、河川水についてはダイオキシン類対策特別措置法に基づく常時監視(公共用水域)実施計画に基づき、また、土壌・地下水については地下水質測定計画に基づき、ダイオキシン類に係る環境調査を行う。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	100.0%	100.0%	R6目標			R6実績		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
					0.30人	0人	②19検体	100.0%	100.0%				どのように貢献したか		
			期間	H9 ~	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合				R6目標			R6実績		引き続き定められた測定の精度を維持し、今後も常時監視を継続する。
					0.30人	0人									
		2,424千円							どのように貢献したか						
		2,449千円							どのように貢献したか						
									どのように貢献したか						
445	環境 クリーン部	環境 対策課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を達成しているため、一定の成果を上げられていると考える。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを	
			重要	自治事務	135千円	135千円	①継続的な空間放射線量測定	調査実施率(測定数/調査数×100)	市民生活における空間放射線の影響の確認のため市内10地点での測定に係る実施率を指標とする。				R6年度に改善した点		
			根拠法令	-	R6予算現額	R6決算額(見込み)	②除染土壌仮保管場所定期測定	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析			目標達成済		課内で放射線測定器の使用方法について研修を実施し、担当外の職員においても理解を深めた。
					159千円	138千円	③測定結果公表		100.0%						100.0%
			事業の目的及び具体的な内容	市内の放射線量を定期的に測定し、その結果等の情報を市民に公表するとともに、市民への測定器貸出や相談などの対応を行う。また、放射線に係る環境汚染の実態を継続的に把握することで、市民の不安を軽減するための根拠資料とする。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	100.0%	100.0%	R6目標			R6実績		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
					0.71人	0.15人	①市内10地点での測定回数1地点・1回/3ヶ月	100.0%	100.0%				どのように貢献したか		
			期間	H23 ~	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	②保管場所×2回/年			R6目標			R6実績		市による定期測定を継続し、その結果を公表することで、市民の安全安心の確保に努める。また、点検、校正を行った測定器の貸出を継続する。測定頻度等については見直しを検討していく。
					0.51人	0.15人	③市ホームページ、各まちづくりセンターにポスター掲示								
		5,738千円							どのように貢献したか						
		4,163千円							どのように貢献したか						
									どのように貢献したか						